

作目名	なす
-----	----

作型名	露地栽培
-----	------

月 旬	1			2			3			4			5			6			7			8			9			10			11			12			品種
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下				
平坦地																																					千両二号 筑陽 台木
中山間地																																					アカナス トナシム 台太郎

● 仮植 トンネル △定植 収穫

○技術体系設定の前提条件

- (1) 対象地域
 - 県下全域
- (2) 立地条件
 - ①気象条件
 - 7～11月まで生育適温22～30℃が続くことが望ましい。
 - ②ほ場条件
 - ア 耕土が深い。
 - イ 排水が良好で、過湿・過乾燥にならない。
 - ウ 高温・乾燥期にも十分灌水ができる。
 - エ 風の影響を受けにくい。また、防風対策（防風ネットが設置しやすい、風の通り道にならないなど）がしやすい。
 - ③栽植株数（10a当たり）
 - 500～600本
- (3) 目標収量（10a当たり）
 - 10t

○施肥基準

(1)施肥基準量 (10a当たり・kg)

施肥成分	総量		基肥	追肥					
				1	2	3	4	5	6
窒素	化学肥料由来	37	18	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	
	有機質肥料由来	9	6	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	
りん酸	47		33	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	
加里	38		19	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	

【施肥設計及び施肥上の注意事項】

- 1 施肥設計は土壌診断の結果に基づいて樹立する。
- 2 堆肥は完熟したものを利用する。ただし、りん酸、加里の過剰は場では、十分に注意する。
- 3 施肥設計にあたっては、堆肥中の有効成分を測定し、それを施肥基準から差し引き肥料の施用量を決定する。